


新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局 地域道路課
担当課長名：田村 俊彦

事業の概要

事業名	一般県道 川原畑大戸線 湖面1号橋工区	事業区分	地方道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑 至：群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯	延長	1.3 km		
<p>事業概要</p> <p>一般県道川原畑大戸線湖面1号橋工区は、平成27年度完成予定であるハッ場ダム建設事業に伴い水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結ぶ幹線道路であり、延長1.3kmの2車線道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>本路線は、平成27年度完成予定であるハッ場ダム建設事業に伴い水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結ぶ道路であり、水源地域住民の交通の利便性を確保することにより、代替地での生活再建を支援するものである。</p> <p>また、新川原湯温泉、吾妻溪谷、ダムサイト等の観光地を結ぶことにより、一体的な観光拠点が形成され、観光を中心とした地域振興を支援するものである。</p>					
全体事業費	5.1億円	計画交通量	1,900台/日		
<p>事業概要図</p> 					

関係する地方公共団体等の意見

平成2年12月に群馬県と建設省ハッ場ダム工事事務所（当時）が作成した「地域居住計画」において、地区間連絡道路と位置づけられており、平成4年7月に町・県・国の3者で締結した「ハッ場ダム建設事業に係る基本協定書」において、「地域居住計画の内容について、町・県・国は、地元関係者と十分協議調整のうえ、誠意をもって実施するものとする。」としている。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている。
円滑な事業執行環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：5.5億円 （事業費：4.5億円 維持管理費：0.95億円）	総便益：9.3億円 （走行時間短縮便益：9.1億円 走行費用減少便益：0.13億円 交通事故減少便益：0.00億円）	基準年 平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)	
		事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	—	【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること	
		事故対策	—	【死傷事故率】 (死傷事故率比（県内平均比）) (事故率曲線における位置：) 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること	
	歩行空間	○	歩行者の安全性の確保 (幅員3.0mの歩道が両側に設置されている)		
	社会全体への影響	住民生活	◎	ハッ場ダムにより水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結ぶ道路であり、ダム事業による住民生活への影響を軽減し、生活再建を図るために必要な道路である。	
		地域経済	◎	新川原湯温泉、吾妻溪谷、ダムサイト等を結ぶことにより、一体的な観光拠点が形成され、観光を中心とした地域振興を支援する観光振興に寄与する。	
災害		—			
	環境	—			
	地域社会	○	ハッ場ダムにより水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結ぶ幹線道路であり、地域コミュニティの維持・形成に寄与する。		
事業実施環境		○	水源地域対策特別措置法に位置づけられている。		

採択の理由

当該事業は、ハッ場ダム事業に伴い水没する川原畑地区と川原湯地区の移転代替地を結び、代替地での生活再建を支援するために重要な道路であり、事業実施の必要性が高いと判断できる。

以上により本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。